

秋田県の元気な地域の活動情報満載!!

元気ムラ通信 31号

「元気ムラ通信」は秋田県が運営する「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト」(通称:元気ムラ応援サイト)で紹介する地域を中心に、県内の地域づくり活動を紹介しています。

●発行日:令和4(2022)年11月15日

あきた元気ムラ
応援サイトは

元気ムラ で検索



元気ムラサイトを
携帯電話・スマート
フォンで見たい方は
←こちらから!



「にかほ市」
と笑顔で!

見つけよう育てよう地域の未来



にかほ市で3年ぶりに「大交流会」復活!

9月3日(土)、にかほ市の象潟公民館で「あきた元気ムラ大交流会(座楽会(ざがくかい)2022 IN にかほ)」を開催しました。

大交流会は、秋田県内で地域づくりに取り組む皆さんが一堂に集まり、交流を通じて新しい活動の「きっかけ」をつくる場。3年ぶりに復活です。県内から29地域・約100名の方が参加しました。

コロナ禍前の大交流会といえば、各元気ムラ地域が伝統料理を持ち寄り、交流を図りながら試食を楽しむ“試食交流会”を行っていました。

今年は試食交流に代わる新たな試みとしてデジタル技術を活用した交流体験を行いました。

大交流会特集ページ

●にかほ市元気ムラ集落の活動紹介

大交流会では、にかほ市の3地域の元気ムラ（小砂川地域・琴浦地域・釜ヶ台地域）から、それぞれの活動発表が行われ、さらに、伝統芸能「釜ヶ台番楽」が披露されました。

※3地域の活動は最終ページをご覧ください。



にかほ市
3地域の活動
発表

●デジタルを使った 新しい交流のかたち

にかほ市の活動紹介の後には、「デジタル」をテーマに能代市の梅内聚落（しゅうらく）の取組発表と、Zoomを使った交流体験を行いました！

伝統芸能
釜ヶ台番楽



取組を発表する
船山富雄さん



うちの地域では
こんなイベント
やってるよ！

梅内地域の取組発表

梅内地域はオンライン交流などを通じて地域外の人との交流をスタート。最初はみな「初心者」でしたが、協力隊などからZoomの操作を教えてくださいなど、積極的に情報発信しています。

Zoom 交流体験

参加者を4人・1グループに分け、会場内で、画面越しの交流を体験してもらいました。

●元気ムラの 食材紹介

県内3地域の食材（能代市常盤地域のごま巻、にかほ市大竹地域のいちじく甘露煮、仙北市田沢地域のゆべし）を紹介し、参加者全員にお渡ししました。

元気ムラサイトに一部のレシピが掲載されています。次の二次元コードからも見られますので、ご覧ください。



●大交流会を 振り返って

令和2年度以降中断していた大交流会ですが、ようやく復活することができました。参加された方からは、「3年ぶりに懐かしい人と会えた」「このような交流で、他の地区のやっていることが見えてうれしい」という声もいただいています。



司会は
キャミソウル
ブラザーズ



←ごま巻
常盤地域（能代市）



←ゆべし
田沢地域（仙北市）

多くの皆様のご協力により
大盛況で終わることができました。
ありがとうございました♪

かわかみ
川上地域（小坂町）



子供も大人もプール清掃♪

7/17（日）、地域内外の人が集まり、川上地域でプール清掃が行われました。子供から大人まで多くの世代が集まることで、住民の交流行事としても定着しています。

いんない
院内地域（湯沢市）



いんないMIRAI農園収穫祭♪

9/24（土）、院内地域の若者でつくる「いんない未来塾」が収穫祭を開催し、野菜収穫、漬け物づくり、「いんない石窯」ピザづくりやバーベキューを楽しみました。

よつや
四ツ屋地域（大仙市）



本来の祭りが復活！四ツ屋まつり

10/9（日）、四ツ屋地域で「四ツ屋まつり」が開催されました。昨年は花火の打ち上げのみでしたが、今年は吹奏楽や演芸の披露など本来の祭りが戻ってきた内容となりました。

しねご
笹子地域（由利本荘市）



笹子地域の秋の恵み収穫祭！

10/23（日）、笹子地域で収穫祭が開催されました。住民の方が準備した天然きのこや野菜、特産の笹子やきそばやイワナの塩焼きなどが販売され、多くの人でにぎわいました。

おしらせ 「サタナビっ！」で「元気ムラキャンパス」放映中！

秋田朝日放送（AAB）の情報番組「サタナビっ！」コーナー内で、元気ムラの魅力を伝える「あきた元気ムラ！キャンパス」が4月から放映されています。

「サタナビっ！」番組内で毎月最終土曜日のコーナー（月1回放送）。10時頃に放映されます。令和5年2月まで、どこかの元気ムラ集落の取組が放送されますので、是非ご覧ください！



9/24に放映された湯沢市小野地域の「かあちゃん笑店」のロケ風景

今回の地域からのメッセージは、
元気ムラ大交流会の事例紹介から、
にかほ市 3 地域の皆さんの言葉をご紹介します。



こさがわ
小砂川地域
伊藤悟さん

みんなの気持ちを 切らさず、 「続ける」ことが大事

上浜地域は小砂川地域を含む 9 集落からなる地域です。秋田と山形の県境に位置し、夕日がきれいな海岸、岩牡蠣と見どころが沢山あります。平成 25 年に上浜地域振興協議会を設立し、住民の交流機会をふやすため、秋祭りを行っていました。この 2 年間で中止していますが、民謡などの演芸祭りを多くの高齢者が楽しみにしていました。



上浜地域のワークショップの様子

そこで、今年は旧上浜小学校で「朝市」の開催を企画し、高齢者も集まれる場所にしたいと思っています。

2 年前から上浜地域ではワークショップの場で住民の話合いを行っていますが、続けていくことが一番大事です。みんなのモチベーションが続くように頑張っていきたいです。



ことら
琴浦地域
小野一郎さん

コミュニケーションの きっかけを作る 「琴浦わいわい農場」

地域で毎月 1 回行っている“サロン”で、参加者から「友達とわいわいおしゃべりしている時間が一番楽しいよ」という声を多く聞くようになりました。

そこで、いつでも自由に参加（話）できる場をと、「琴浦わいわい農場」を始めました。『できる人が、できる事を、できる時に、できる分だけ』と、取り組んでいます。



琴浦わいわい農場の収穫の様子

収穫物は作業に関わった方はもちろん、月一のサロンで配付します。来れなかった人には届けることで“声かけ”ができるし、それだけで交流になります。

また子どもたちも、農場に遊びに来るので世代間交流もうまわれています。ゆる～く集まれる場が大事なのではと思っています。



かまがたい
釜ヶ台地域
佐藤溪輔さん

“伝統”を守るから “伝承”へ 「釜ヶ台番楽」

釜ヶ台の住民にとって、番楽は『集落の誇り、いきがい、ヒーロー』でした。でも少子高齢化が進むなか、“伝統を重んじて番楽を継承する”ことが地域だけでは難しくなってきました。

そんな中、「伝統」という考えを「伝承」に変えて受け継いでいけば番楽も存続できるのではないかという発想で 2017 年に広報チームを立ち上げました。



釜ヶ台番楽の衣装体験会の様子

地域外でも興味のある方はどんどん受け入れることにしたのです。こうしたことがスムーズに運んだ背景には、親世代の柔軟な考え方が功を奏したのも大きかったです。『なくしてしまっただけではもともともないが、変えてもいいものは変えていく』という考えで、新たな手法にも取り組んでいます。

編集後記

右の写真は、にかほ市小砂川（こさがわ）地域の消防団の T シャツ。地元を盛り上げようと作ったそうで、何かやるときにこの T シャツを着るそうですよ。皆さんの地域でも地元ならではの T シャツを作ってみませんか♪



元気ムラ通信のご感想・ご意見を
お待ちしております！